

第43回全国学校保健・学校医大会
第2分科会「からだ・こころ(2)」
健康教育・生活習慣

佐賀県下小学6年生を対象にした
防煙教育の試み
—アンケート調査からみえること—

佐賀県医師会喫煙対策委員会
委員長 徳永 剛

2012. 11. 10



背景

佐賀県では平成18年度より全中学1年生に対し学校医を中心とした防煙教育を実施し、本大会で発表している。

中学1年生の喫煙経験率は6%であり、防煙教育を小学校高学年へ拡大する必要性が示唆されていた。

教育委員会、県庁及び学校医の協力のもと、平成22年度より、全小学6年生に対し、防煙教育を開始することが出来た。

目的

1. 小学校6年生の喫煙や受動喫煙の状況の把握
2. 佐賀県下全小学校6年生へ行っている防煙教育の効果などを明らかにする

方法

対象小学校：173校中153校

対象生徒：小学校6年生

参加人数：7,585人

(男子3,861人、女子3,707人、不明17人)

生徒に対するアンケート調査：

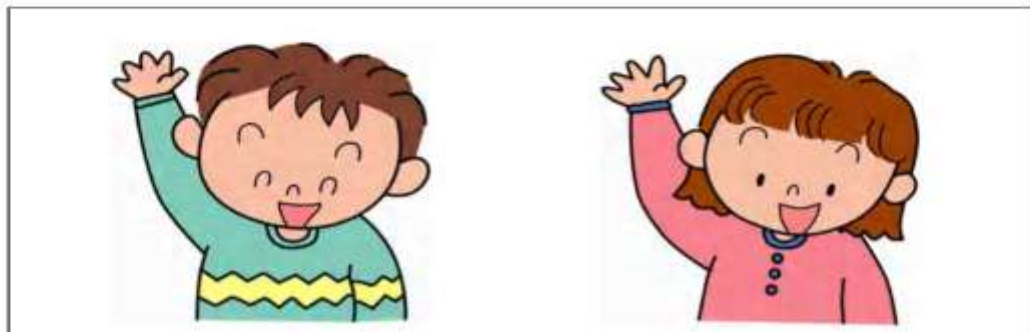
講義前後に実施

教材：主に佐賀県医師会作成スライド

小学校児童用教材

小学生高学年用

タバコについてのクイズ
をします。
この絵が出たら、
手をあげてください。



第1問

タバコのけむりには、
体に悪いものが
どれだけ入っている
でしょうか？



何番だと思えますか？

① ^{しゅるい}2種類

正解は200^{しゅ}種類^{るい}



200種類



タバコは

どく かんづめ
毒の缶詰

りゅうしせいぶん
粒子成分

ニコチン
(依存性がある)

タール
(発ガン性がある)

せいぶん
ガス成分

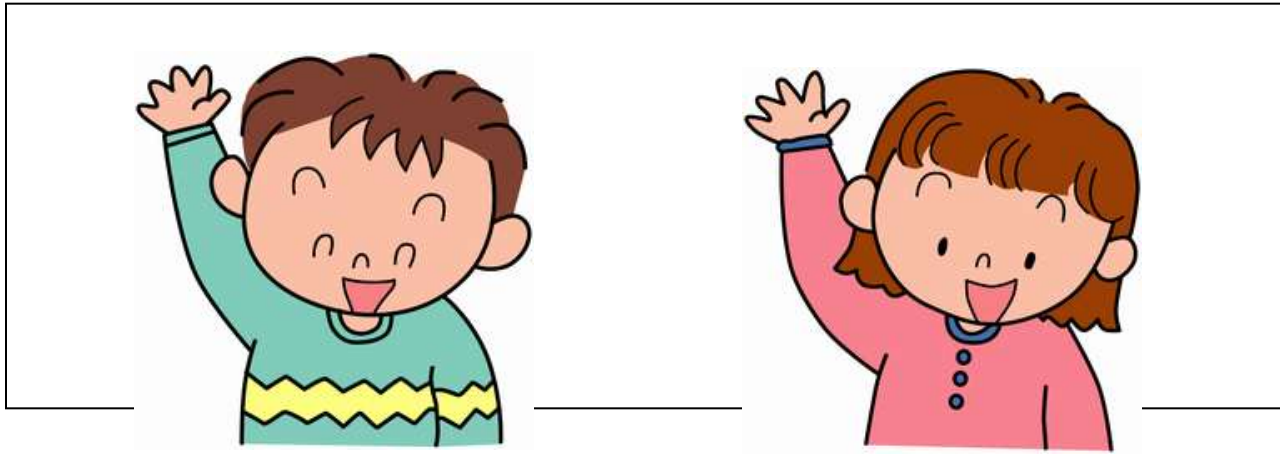
一酸化炭素
(全身の細胞に
酸素不足をおこす)

窒素酸化物
アンモニア

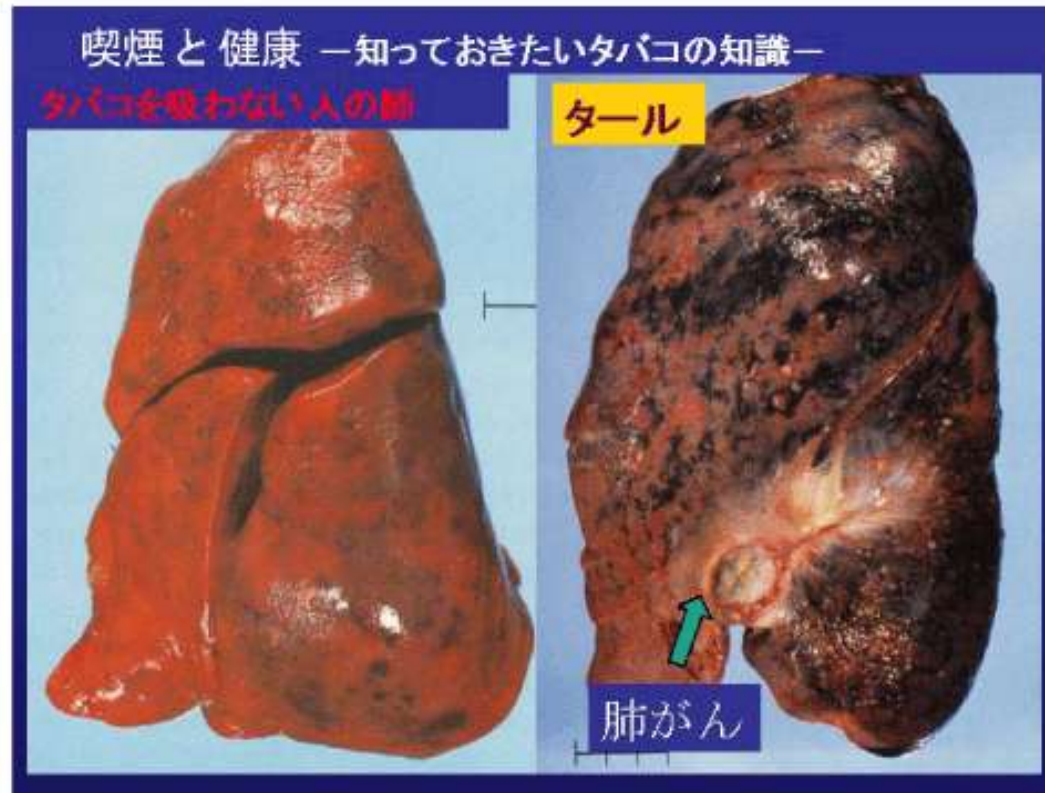
どく かんづめ
タバコは毒の缶詰 !!



友だちなどから、
タバコをさそわれてたら、
君はどうする？



がんが出来た肺の写真



タバコの煙に含まれるタールには発がん物質が含まれています。肺の一部にがんが出来た時には、すでに肺全体に発がん物質を含んだタールで汚染されているのがわかります。がん出来る前にタバコはやめましょう。

33歳で妻子を残して肺がんでなくなった人の写真です。家族の希望で全世界に公開されました。中学から喫煙を始め、33歳で発病しました。



肺がんになる前の姿

肺がんという病気は空気が吸えなくなり、死ぬ最後まで、堪え難い苦痛を伴います。

そして、食事も出来なくなり、ミイラのような状態で最後を迎えます。

タバコをやめるのを努力しますか？それとも肺がんで死ぬ時苦しみますか？

日本人の死因のトップはがんです。がんの種類別では肺がんがダントツのトップです。

教材は佐賀県医師会
ホームページから
ダウンロードできます。
ご利用下さい。



タバコをすう人とすわない人の肺

タバコを吸わない人の肺

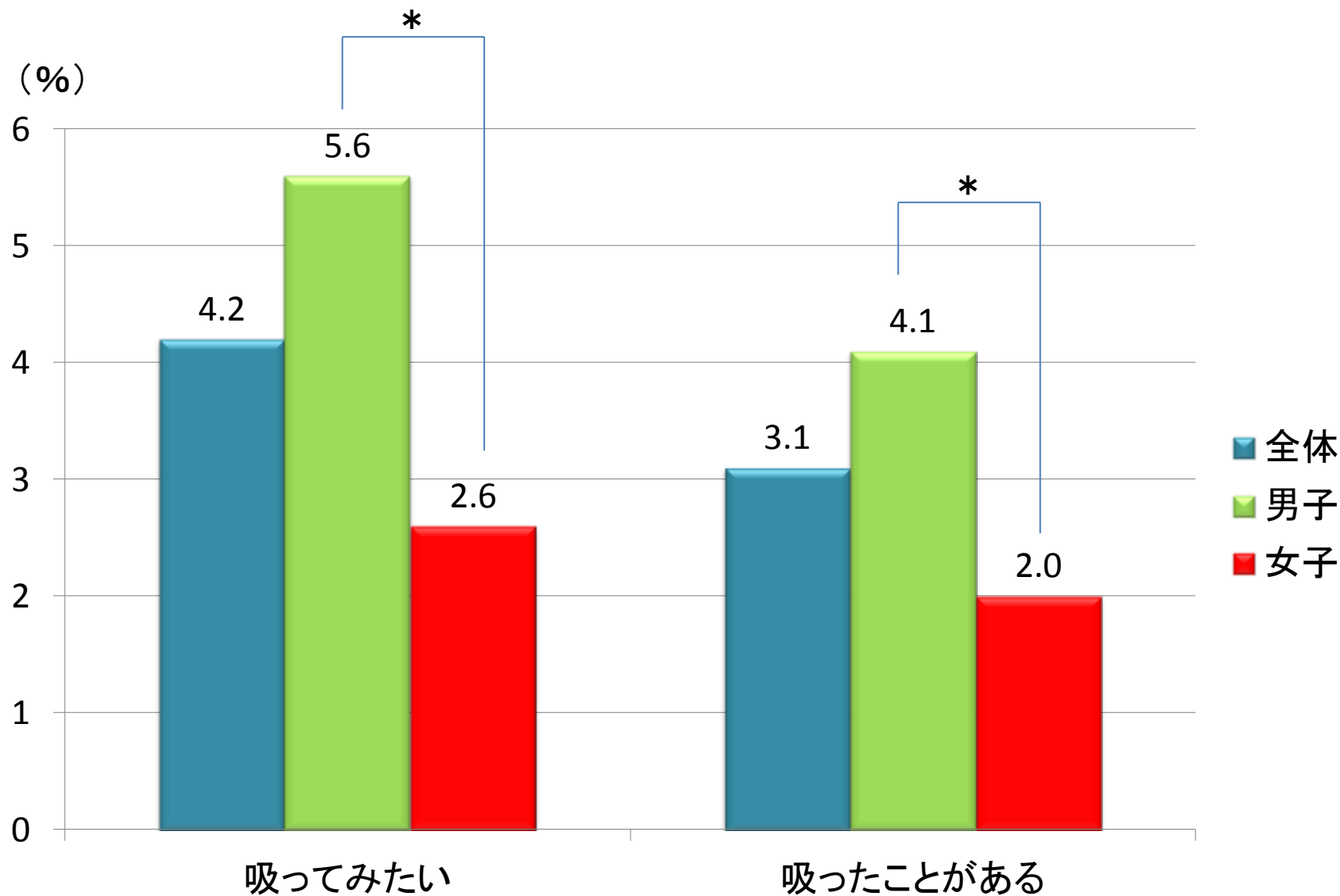
タバコを吸う人の肺



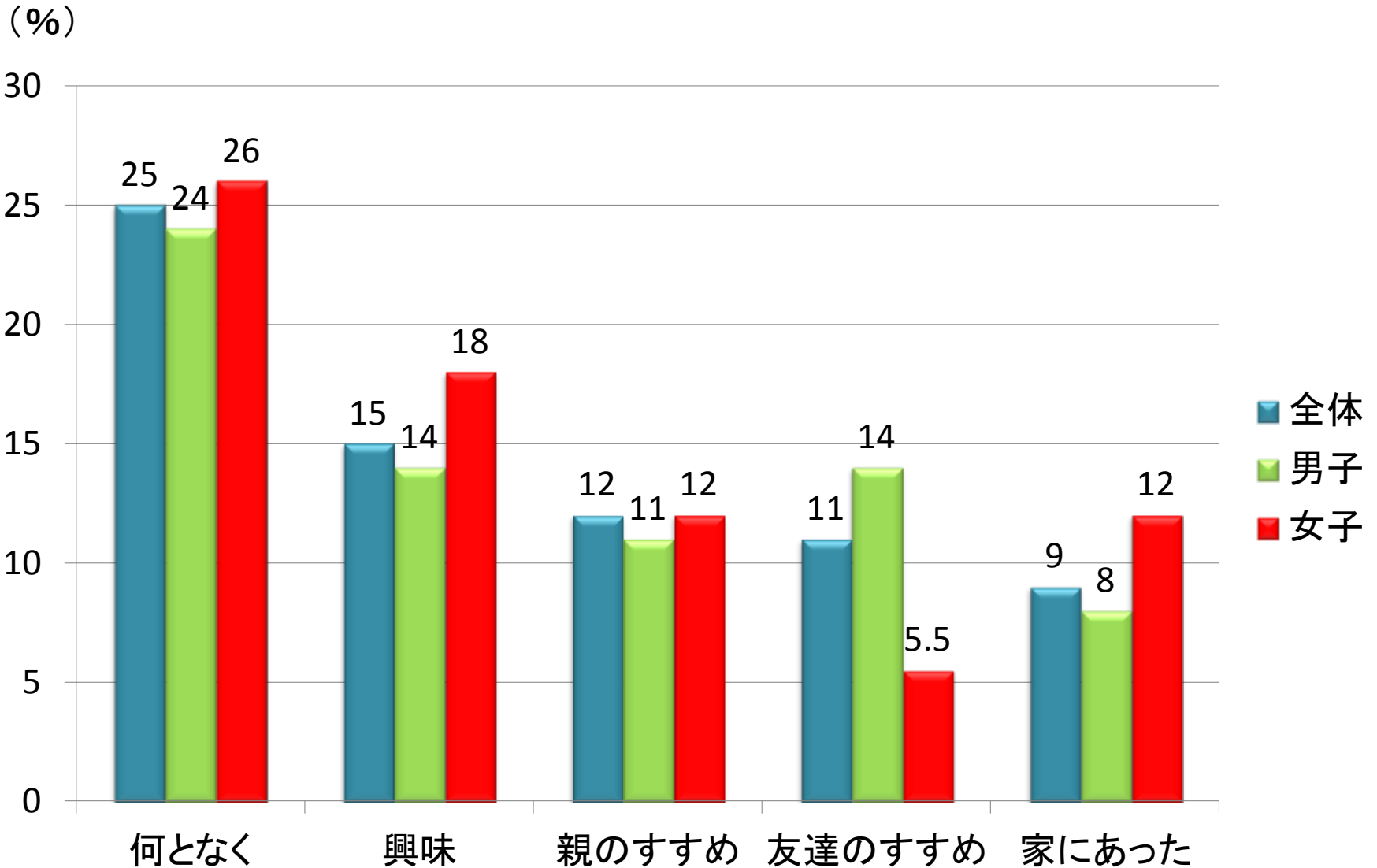


防煙教育実施前の アンケート結果

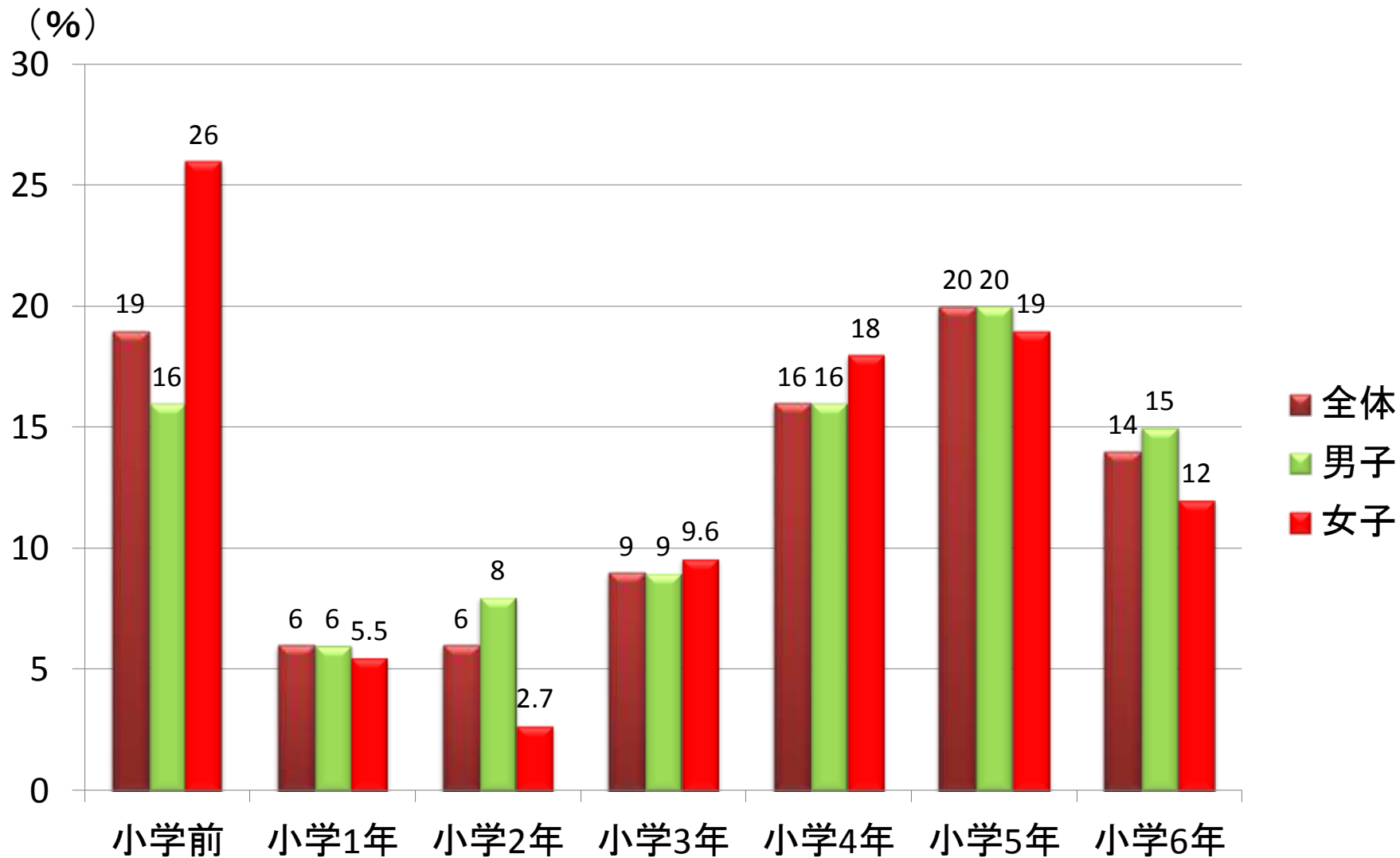
タバコを吸ってみたい・吸ったことがある割合



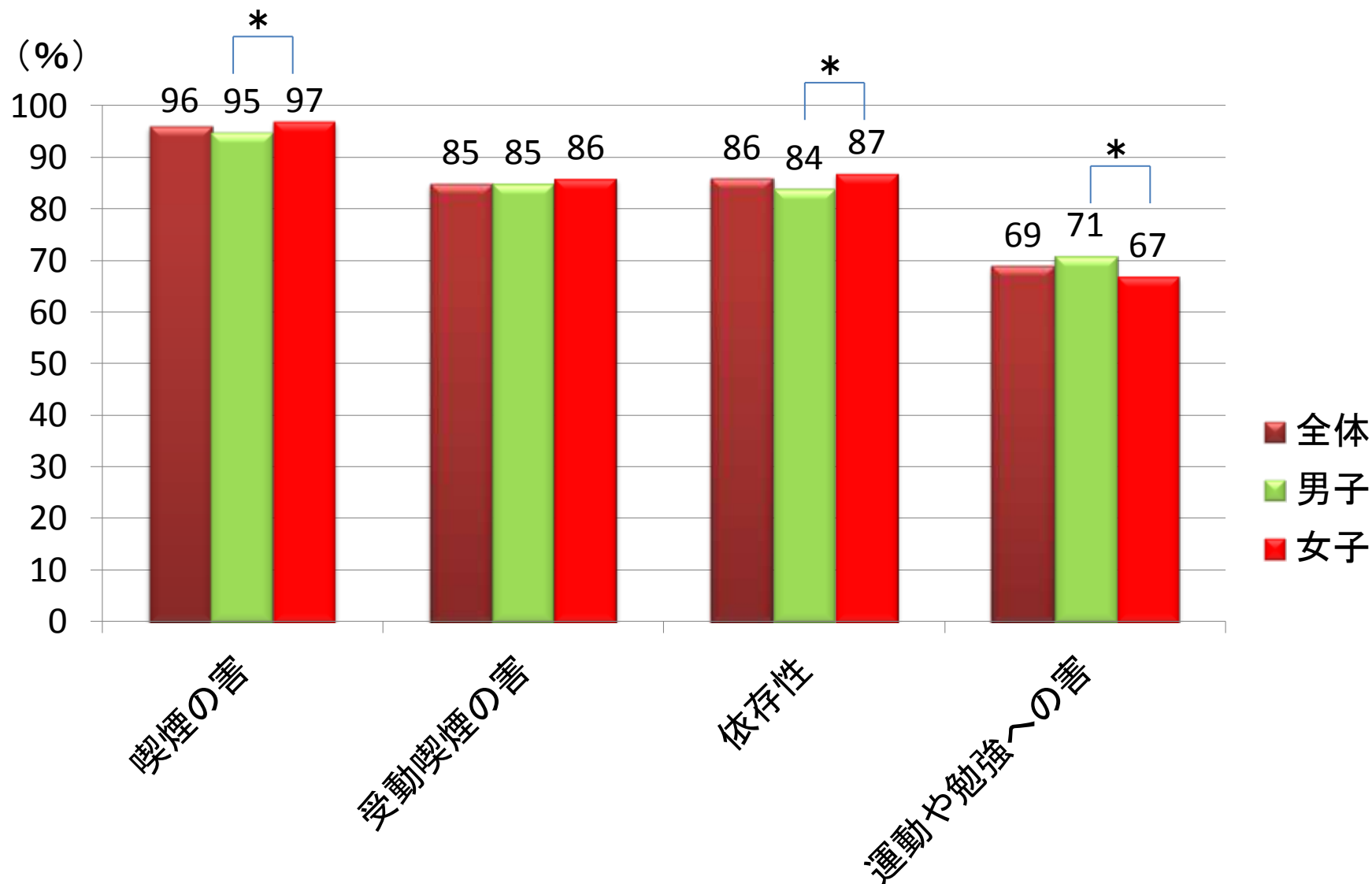
タバコを吸ったきっかけ



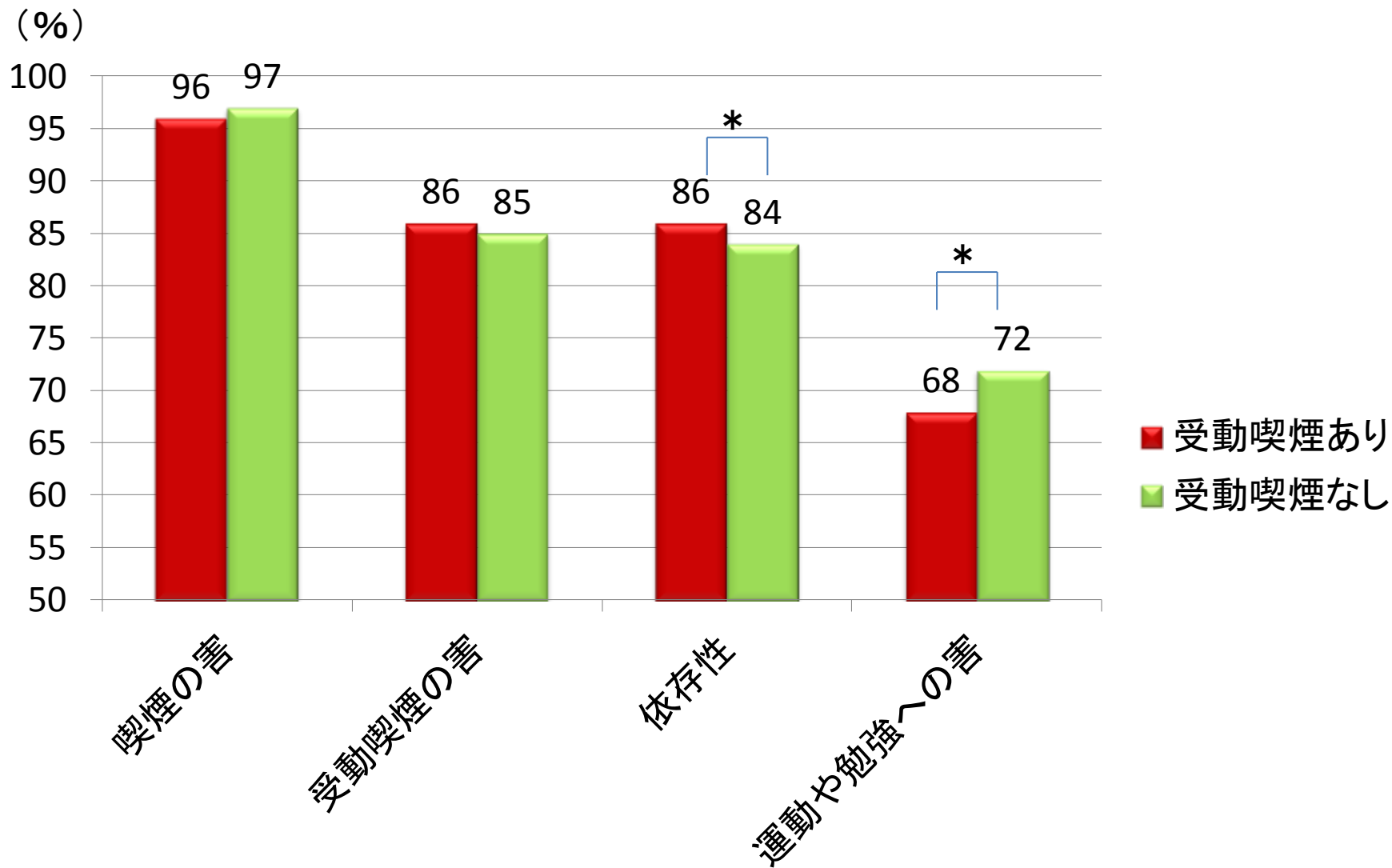
初めて吸った時期



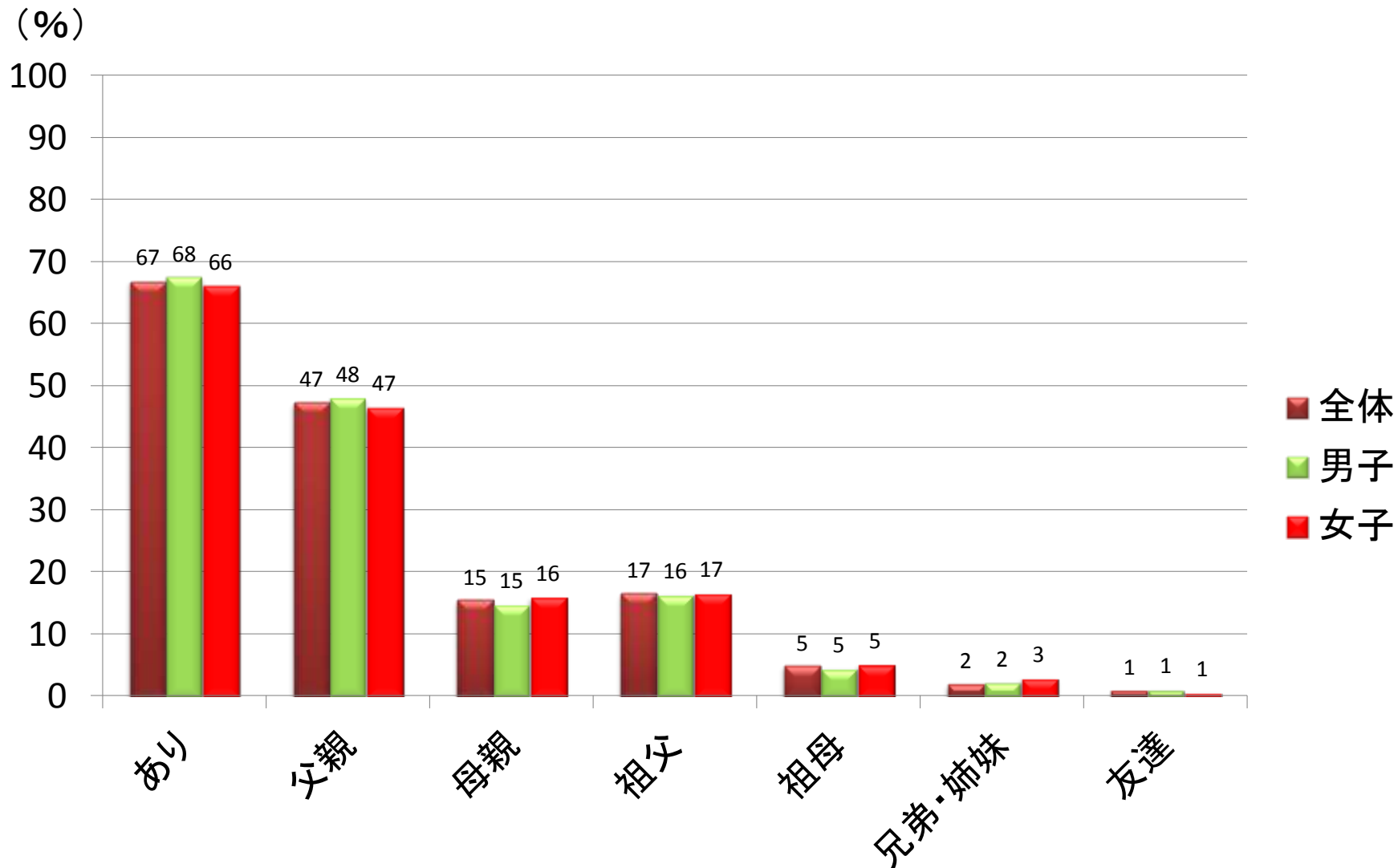
タバコの害に知っていると答えた頻度



喫煙の害を知っていると答えた頻度



周囲の喫煙者の割合と喫煙者



防煙教育実施前後の アンケート結果

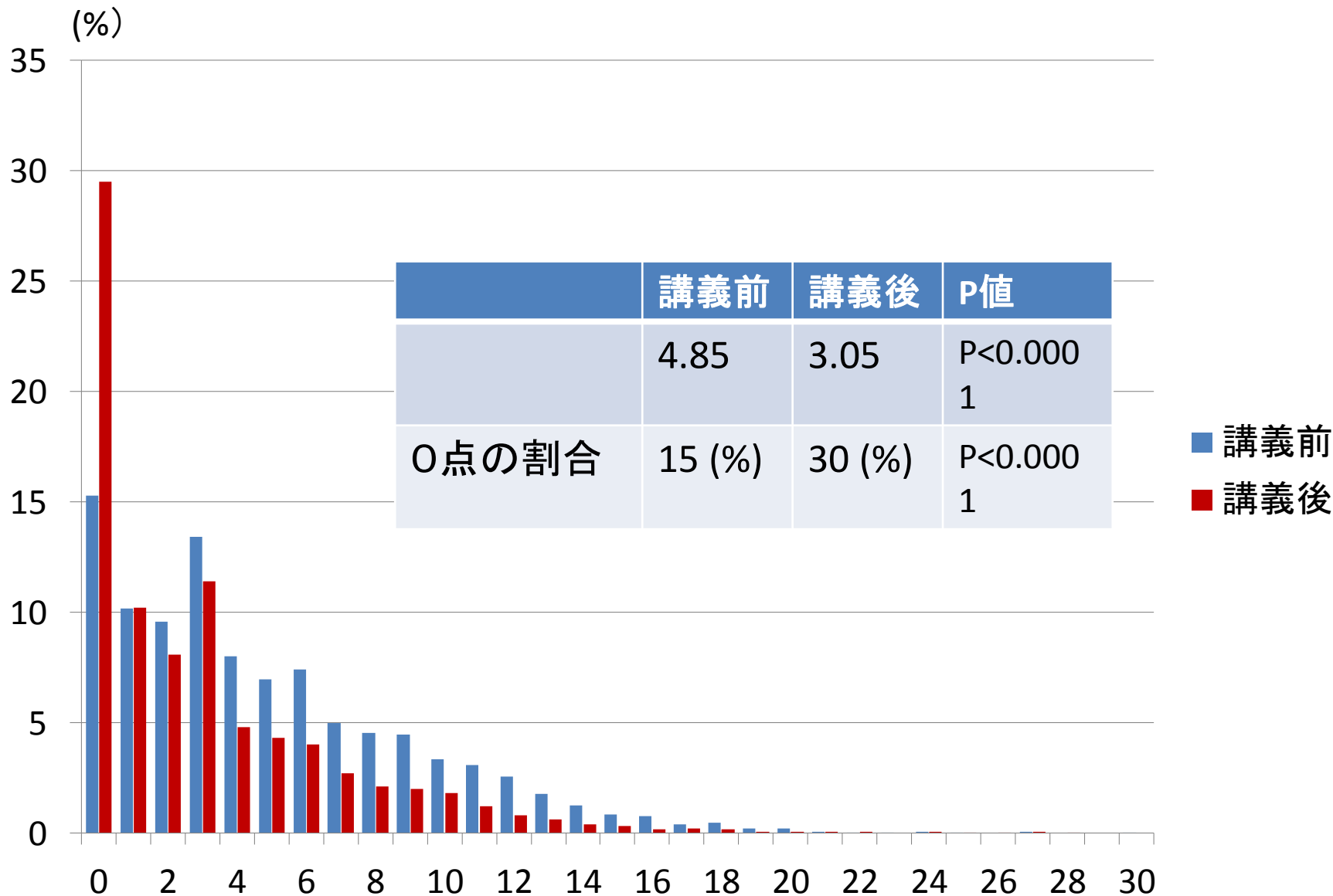
社会的ニコチン依存度調査票(KTSND-J)を用いた評価

社会的ニコチン依存:喫煙を美化、正当化、合理化し、またその害を否定することにより、文化性を持つ嗜好として社会に根付いた行為と認知する心理状態

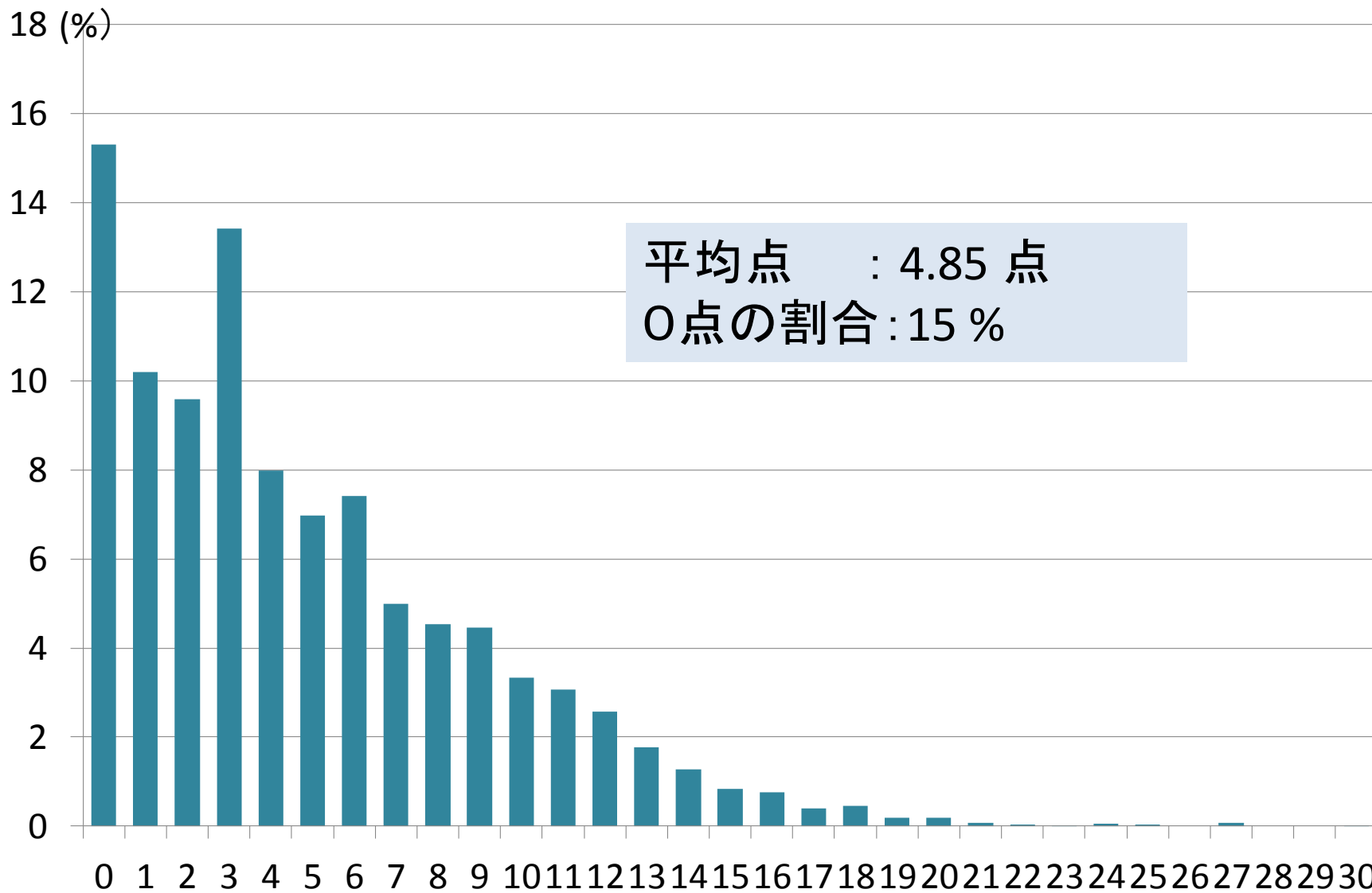
- (1)タバコを吸う人は、やめたくてもやめられないでいると思う。
- (2)タバコを吸うことは大人っぽくてかっこいいと思う。
- (3)タバコはお茶やコーヒーのように味や香を楽しむためのものだと思う。
- (4)タバコを吸う生活も大切にするほうがよいと思う。
- (5)タバコを吸うと生活が楽しくなることもあると思う。
- (6)タバコを吸うと、からだや気持ちにいいこともあると思う。
- (7)タバコ吸うと、気分がスッキリすることもあると思う。
- (8)タバコを吸うと、頭のはたらきがよくなると思う。
- (9)お医者さんや学校の先生は『タバコを吸ってはダメ』と言いきると思う。
- (10)灰皿が置いてあるところなら、タバコを吸ってもよいと思う。

(配点)問1:思わない(3)、あまり思わない(2)、少しそう思う(1)、そう思う(0)
問2-9:思わない(0)、あまり思わない(1)、少しそう思う(2)、そう思う(3)

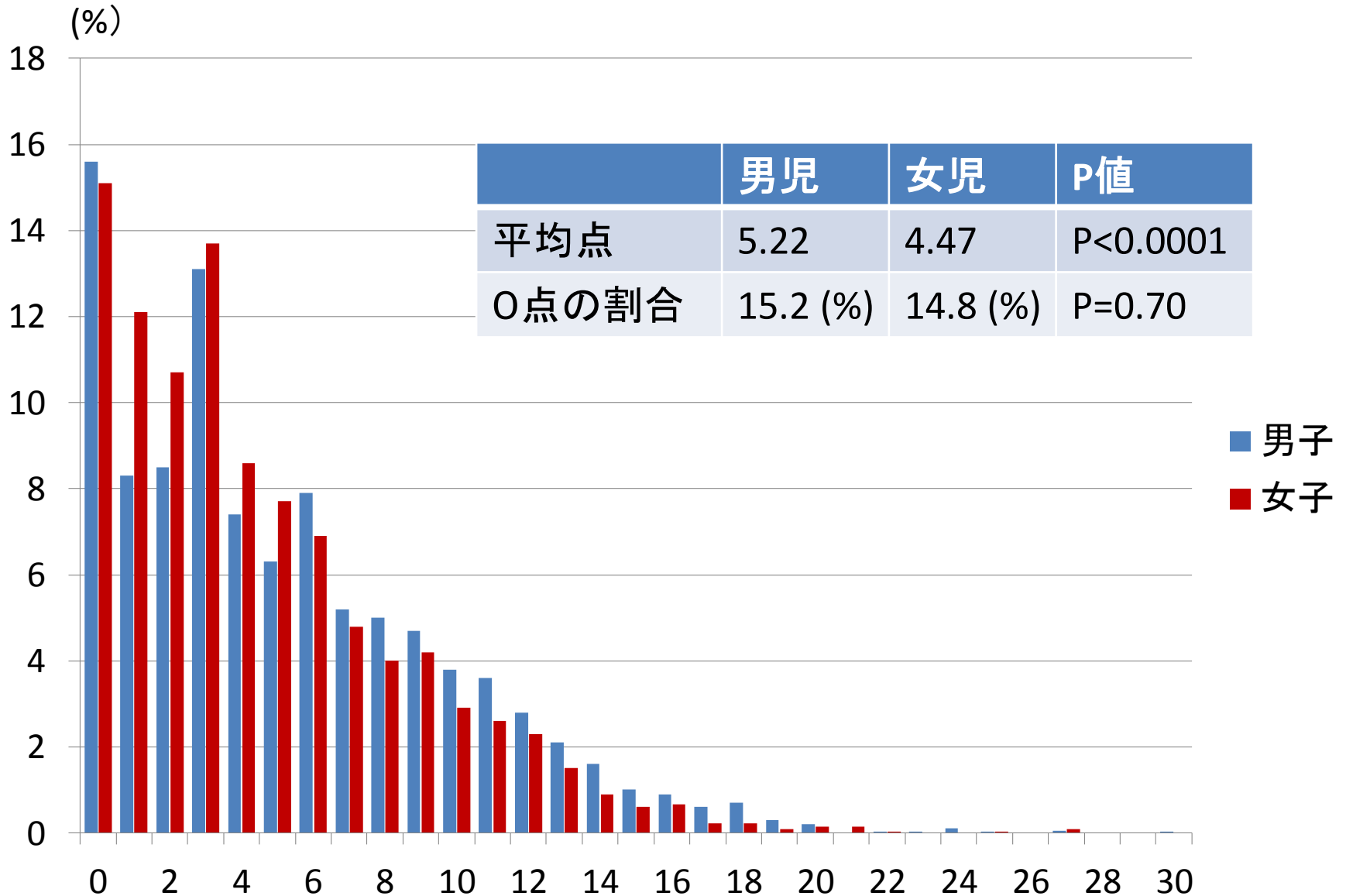
講義前後のKTSND-Jスコアの分布



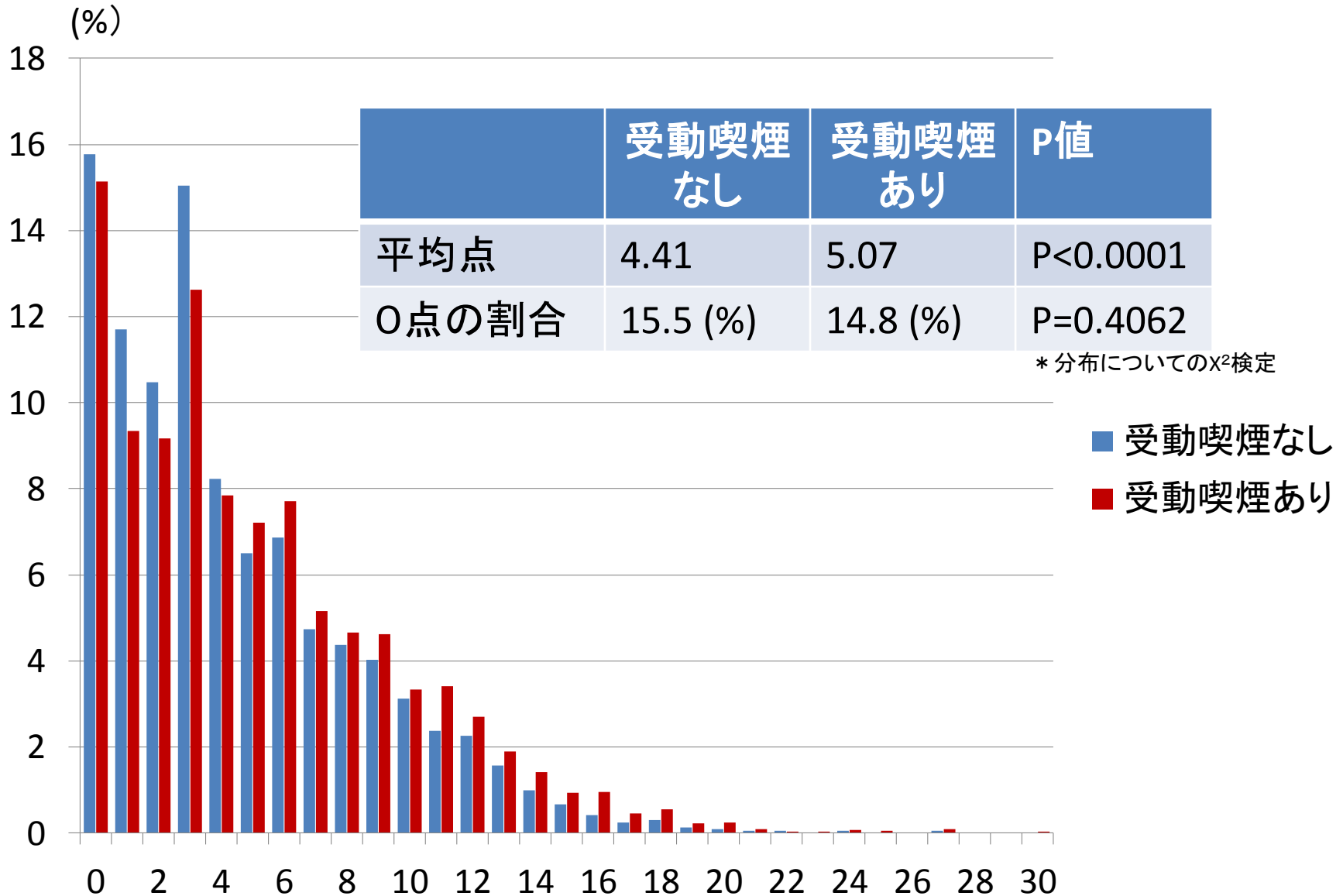
講義前のKTSND-Jスコアの分布 (全体)



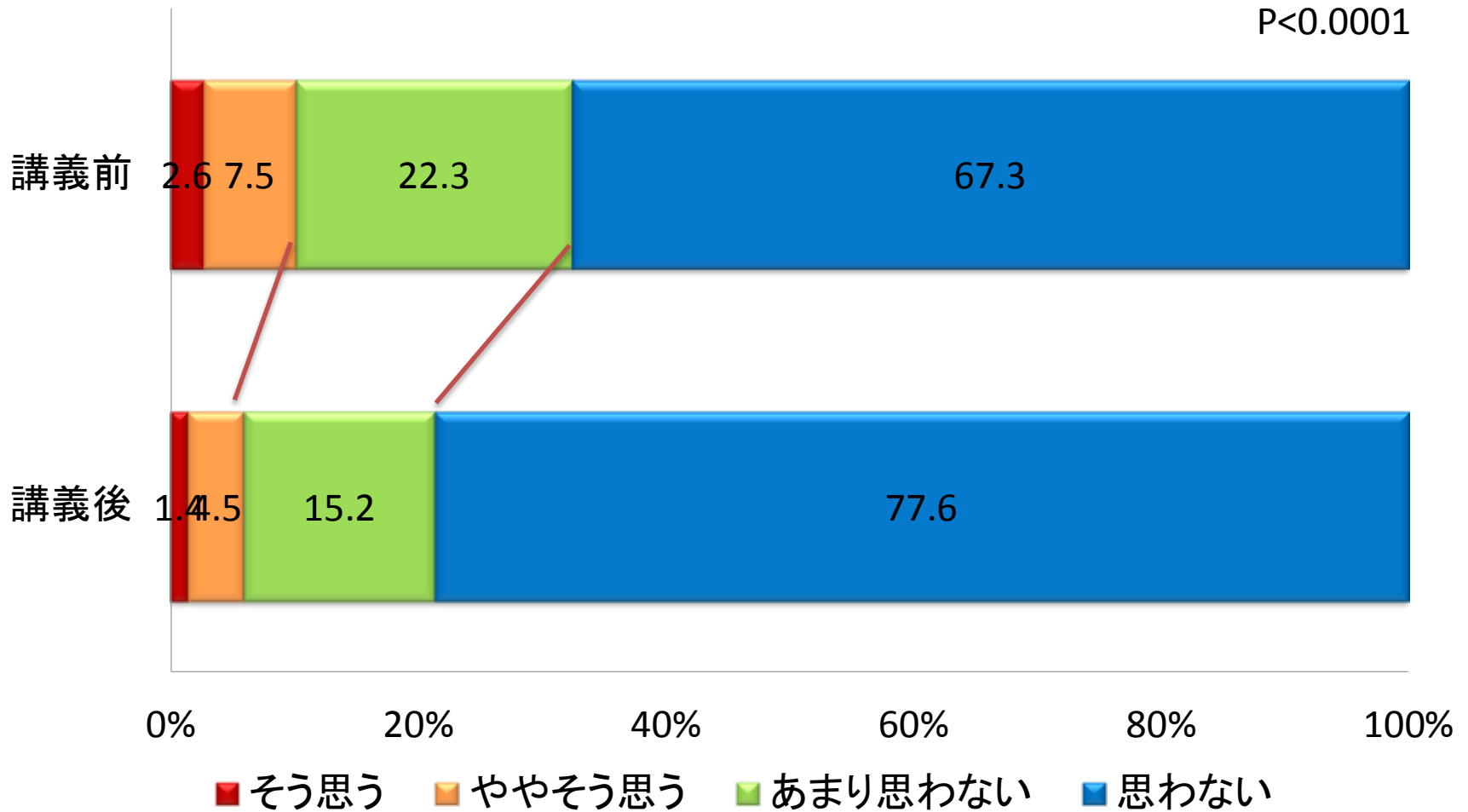
講義前のKTSND-Jスコアの分布(性別)



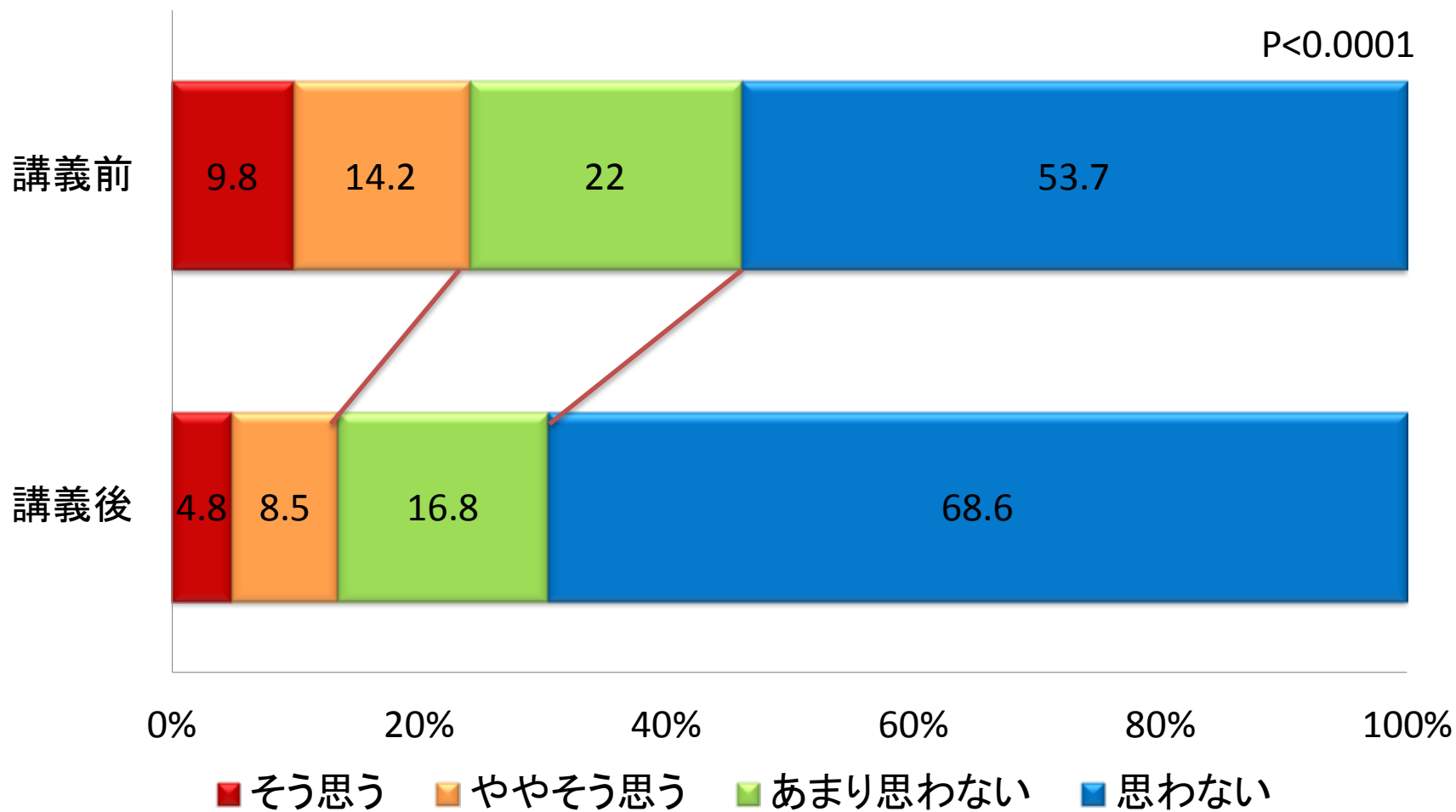
講義前のKTSND-Jスコアの分布(受動喫煙別)



自分は将来タバコを吸っていると思う割合(%)



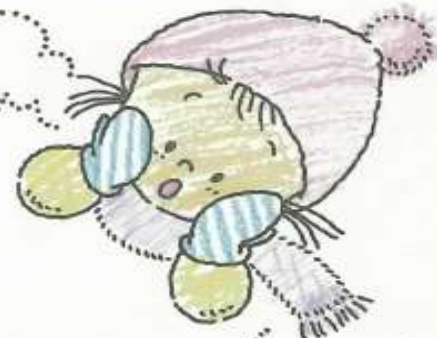
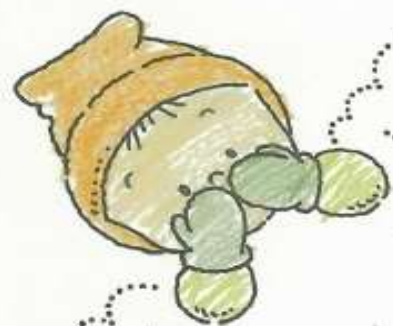
自分は一生のうち、少なくとも1度くらいはタバコを吸うと思う割合(%)



講義の中で印象に残ったこと・思ったこと (自由記載を集計)

位	内容	人数
1	真っ黒な肺や肺ガンの写真	467
2	13歳からタバコを吸って34歳で発病2か月で亡くなった人の話	199
3	タバコは絶対吸わない、吸いたくない、怖い、嫌なもの	189
4	タバコに有害物質がたくさん含まれていること	136
5	タバコを吸う女性の顔写真	110
6	タバコが原因で足の指が腐れて切断された写真	107
7	周りの人に害がある、周りの人も病気になること	88
8	タバコを吸って真っ黒になった歯や歯肉の写真	76
9	ウサギの血管が受動喫煙で収縮する映像	53
10	タバコを吸うと寿命が縮むこと	52

防煙教育後の子供たちからの手紙



原先生へ

12日

15日に、たばこの事について、言ちして下さいあり

がとうございます。ぼくは、^(20才)はたちになっても、たばこ

を吸わないよう心がけます。あと、お父さんにも^{お父さんがいかに}さん

行くようにたのんでみました。ありがとうございました。



養護教諭からも



原 先生

昨年度、原先生の講話と関し、三人の職員が「何と

もやみごころであった。小。本当にありたいと思った

職員に「これこそ女神様のごとき。みんな子どもたち

にこそ、これこそ大切の時期にわかりやすく話して

下さり、有難い限りです。心の中にある資料を

準備頂す。その子どもたち興味を持っては

可わいと思ひ可。信じて可。



ま と め

1. 佐賀県医師会、佐賀県教育委員会、県庁が協力し、佐賀県下全小学6年及び中学1年生に防煙教育を推進している。
2. 家庭での禁煙は、子どもたちの防煙に不可欠である。
3. 学校医を中心とした防煙教育は禁煙に対して有効な手段であり、継続して行う必要がある。
4. 学校での防煙教育は文化を変えうる可能性をもつ。

研究協力者

- ・佐賀県医師会会長 池田 秀夫
- ・佐賀県医師会常任理事 貝原 良太
- ・佐賀県医師会喫煙対策委員会
- ・佐賀県健康福祉本部副本部長 古川 次男
- ・佐賀県教育庁体育保健課主幹 牟田 修
- ・佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野 原 めぐみ

(敬称略)